

えのさわ吉克県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

都市計画道路
西内河根場線

県が来年度事業着手へ

館山道・圏央道4車線化で要望



道路問題で地域の課題を訴える江野澤県議

とが予想され、周辺道路網の整備が急務となっています。

中でも、金田地区と袖ヶ浦市街地を結ぶ都市計画道路中野畑沢線、西内河根場線の整備は最も重要だと考えます。

袖ヶ浦市と木更津市では、本路線の重要性を考え、平成26年度から現地測量など地権者への説明を先行して事業化を進めてきました。

そこで伺います。都市計画道路西内河根場線及び中野畑沢線の未整備区間について、事業化の見通しはどうか。

県土整備部長 西内河根場線及び中野畑沢線は、

30年度に完成見通し

江野澤議員 館山自動車道は、現在4車線化に向けて工事が着々と進められています。1日も早い完成を待ち望んでいるところで、館山自動車道の4車線化工事の見通しはどうか。

森田知事 現在東日本高速道路株式会社では、平成30年度の完成に向け、拡幅部の盛土及び切土工事や、天羽トンネルの掘削工事、染川橋などの上部工事な

工事中の高須賀和田線と接続し、袖ヶ浦駅周辺地区から木更津市金田地区を経て、東京湾アクアラインへつながる重要な道路です。

本路線については、地元市が先行して調査設計を行っているところですので、平成29年度に事業着手するよう努めてまいります。

要望 早急な道路整備が必要とされていますので、ぜひとも高須賀和田線が終わった後に早期に実現していただくようよろしくお願い致します。

江野澤議員 どの順調に進められていると聞いています。県としては、4車線化工事が円滑に進むよう、沿線市などと組織する事業連絡調整会議を活用し、引き続き同様に協力してまいります。

江野澤議員 圏央道の4車線化の必要性についてどう考えているのか。

森田知事 県としては、安全で円滑な交通を確保し、生産性の向上を図るためには、早期に4車線化が必要と考えており、引き続き、国や東日本高速道路株式会社に強

く働きかけてまいります。

要望 館山道、そしてまた圏央道に答弁していただきましたが、2件とも早期に供用、また計画が実施できますよう強く要望します。

江野澤議員 京葉道路の渋滞解消に向けた取組はどうか。

県土整備部長 京葉道路はほぼ全線にわたり1日当たり10万台を超える交通量があり、交通集中に伴う慢性的な渋滞が生じています。

渋滞発生を抑制し、円滑な交通を確保するために、東日本高速道路株式会社では、穴川・貝塚インター間の付加車線を整備したところで、

江野澤議員 渋滞対策として、未整備になっている東京湾岸道路及び第二湾岸道路が必要と考えることから、国へ積極的に要望すべきと考えるがどうか。

県土整備部長 県としても沿線自治体や民間団体で構成する「建設促進期成同盟」などにより、早期に計画の具体化がなされるよう、引き続き国へ働きかけてまいります。

要望 京葉道路の渋滞対策は、まだ解消には至りません。交通量が増え

●袖ヶ浦市と県政に関するご要望をお寄せください。

えのさわ吉克 県事務所

〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882

富川橋架け換え工事では、仮橋を解体している期間、前倒しして歩道だけでも使えるような措置を講じられるよう要望します。

その他の要望

中、基本的な考え方を要する必要があると思えます。アクアライン接岸地から市原までの東京湾岸道路、市原から浦安方面の第二東京湾岸道路について、第二が問題が多いのであれば、必要性の高まっているアクアライン接岸地からの要望を早めるべきだと思えます。また、木更津地区の東京湾岸道路予定地は、40年程前から都市計画決定されていて、まだ計画には至っていないことから、地権者のリスクは大きいと思われれます。ぜひ、更なる促進をお願いします。

12月県議会一般質問へ登壇

江野澤議員 アクアラインを生かしたまちづくりを進めるため、袖ヶ浦駅の外側では土地区画整理事業が実施されており、今後、アクアライン着岸地周辺から袖ヶ浦市にかけて、より賑

わうことが期待されます。このような中、両地区を結ぶ県道袖ヶ浦中島木更津線では、交通渋滞が発生しており、加えて金田地区の土地区画整理事業などの進展に伴い、交通需要がさらに増すこ

都計道路の整備

袖ヶ浦市選出で、地域住民の声を県政に届ける江野澤吉克(えのさわ・よしかつ)県議は、今年6月議会に続いて12月県議会でも一般質問に登壇しました。この中で、江野澤県議は道路、治水、有害鳥獣問題などを取り上げ、特に道路問題では、袖ヶ浦駅海側地区とアクアライン着岸地を結び、交通渋滞の緩和が期待される都市計画道路西内河根場線の県による早期事業化を求め、県は「来年度事業化の見通し」を明らかにしました。また「インシシ被害対策では、避妊薬を使った新たな繁殖抑制策を提案するなど注目されました。」

組体操の実施校大幅に減少

小学校での実施率は半減

江野澤議員 学校における組体操については、6月議会でも質問し、実施については危険を伴わない他の方法を含めて、対策や対応の検討をするのを要望させていただきました。

組体操の実施校でのケガの発生率を見ると、小学校で30%、中学校で37.9%です。実施校は減りましたが、ケガの発生率はまだ30%を超えています。そこで伺います。

本年度の実施状況について、県教育委員会ではどのように受け止めているのか。

内藤教育長 組体操の実施率は、昨年度に比べて小学校では半分に、中学校では約3分の1減少しており、ケガの発生割合も小学校で1.6ポイント、中学校

で9.4ポイント減少しているほか、骨折など重いケガの発生率も減少しています。

実施率の減少の要因としては、児童・生徒の安全を第一に考えて中止を決めた市町村及び学校があることや、代替競技を実施した学校があるなどが考えられます。

また、ケガが減少傾向にあるのは、実施した学校が児童・生徒の達成状況を踏まえて、段階的な指導を行ったことなどによると考えられます。

江野澤議員 組体操を実施しなかった学校は、代替競技としてどのような競技を実施したのか。

内藤教育長 代替競技として、ほとんどの学校でダンスやマスケゲーム、その他集団行動や民族舞踏等を行った学校がありました。

県教委としては、今回の調査結果について、市町村教委及び県立学校に対して情報提供しつつ、組体操を含む体育的行事の安全上の配慮について、引き続き指導してまいります。



自席から再質問と要望をする江野澤議員

江野澤議員 このうち、川底の土砂堆積が

度からの5か年では、台風や秋雨前線等に起因する出水により、県内では内水被害も含め、約5300戸の床上・床下浸水被害が発生しました。このうち、4600戸は平成25年の台風26号によるものでした。

江野澤議員 このうち、川底の土砂堆積が

このうち、捕獲については市町村に対して財政的支援を行うとともに、平成27年度からは成田及び長生地域で県自ら捕獲事業を実施し

減少など深刻な問題となっ

治水対策 適切な河川改修を要望

江野澤議員 近年は、夏の相次ぐ台風上陸やゲリラ豪雨などにより、雨の降り方が変わってきています。近年における河川の浸水被害の発生状況はどうだったのか。

江野澤議員 近年は、夏の相次ぐ台風上陸やゲリラ豪雨などにより、雨の降り方が変わってきています。近年における河川の浸水被害の発生状況はどうだったのか。

江野澤議員 県が行っているイノシシ対策はどのようなものか。このうち、捕獲事業の成果について、どのように考えているのか。

江野澤議員 イノシシ被害を減少させるためには、捕獲だけでは限界があるので、国に対し技術開発を要望するとともに、引き続き状況報告を行い、将来的には有効な取り組みが実施できるよう、努めてまいります。

江野澤議員 イノシシ被害を減少させるためには、捕獲だけでは限界があるので、国に対し技術開発を要望するとともに、引き続き状況報告を行い、将来的には有効な取り組みが実施できるよう、努めてまいります。



イノシシの深刻な被害訴え!

江野澤議員 イノシシ被害を減少させるためには、捕獲だけでは限界があるので、国に対し技術開発を要望するとともに、引き続き状況報告を行い、将来的には有効な取り組みが実施できるよう、努めてまいります。

江野澤議員の質問項目

- ① 館山自動車道の4車線化について
- ② 圏央道の4車線化について
- ③ 京葉道路の渋滞解消について
- ④ 都市計画道路西内河根場線及び中野畑沢線について
- ⑤ 県道長浦上総線について
- ⑥ 学校における組体操について
- ⑦ 河川の治水対策について
- ⑧ 有害鳥獣問題について

水を河川に導きます。適切な管理によって、設計された雨水を処理できるよう、強く要望します。